

ナノ・クリーナの洗淨効果

ルミテスターを使って、ナノ・クリーナの洗淨効果を測定しました。
ルミテスター{キッコーマンバイオケミファ(株)}は
簡単迅速に高感度でATP+AMPを数値化できる機械です。

kikkoman

洗淨チェッカー ルミテスター

ATP+AMPふき取り検査とは？

ATP+AMPふき取り検査とは、ATPとAMPの量を測定する検査です。
(特許 No.3409962)

医療現場の汚れ(血液、体液、排泄物、微生物等)の中には、ATPとAMPが存在します。ATPとAMPの量が多ければ洗淨不足であり、ATPとAMPの量が少なければ洗淨良好と判定できます。

医療現場の見えない汚れが10秒でわかる!



ルシパック Pen

* ATP (アデノシン三リン酸) は、汚れの指標となる物質

* AMP (アデノシン一リン酸) は、ATPが変化した物質で汚れの指標となる物質

ルミテスター

注) キッコーマンバイオケミファ(株) の資料を抜粋しました。

ATP:アデノシン三リン酸 AMP:アデノシン一リン酸(ATPが変化した物質)

これらは、必ず生物には存在する物質で、人の血液、体液、排泄物や細菌にも含まれています。

つまりATPとAMPは汚れの指標として最適なわけです。

測定単位はRLUで、RLU値が高いとATP量が多い(=汚れが多い)と判断されます。
洗淨前と洗淨後のRLU値(ATPとAMPの量)を比較することで洗淨効果がわかります。
洗淨後にATPとAMPが多くあれば洗い残しが多く、洗淨不良と判断できるわけです。